

**体育科 教科等経営案**

1. 学校教育目標

「9年間の小中一貫教育を通して、優しさと確かな学力を身につけ、未来に向かってたくましく生き抜く橋原人の育成」

2. 教科の目標

- 1～6年：心と体を一体としてとらえ、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。
- 7～9年：心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

3. 重点指導項目

- 1～6年：体力向上が課題なので、体づくり、走・跳などバランスよく向上を図れることに重点を置いている。
- 7～9年：体力の向上を図るとともに、基礎的な技術を習得して運動が楽しいと感じられる活動にする。

4. 学年別指導内容

<p>1・2年</p>	<p>1 目標 (1) 簡単なきまりや動を工夫して各種の運動を楽しくできるようにするとともに、その基本的な動きを身に付け、体力を養う。  (2) だれとでも仲よくし、健康・安全に留意して意欲的に運動をする態度を育てる。</p>	<p>A 体づくり運動 (1) 次の運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、体の基本的な動きができるようにする。 ア体ほぐしの運動では、心と体の変化に気付いたり、体の調子を整えたり、みんなでかわり合ったりするための手軽な運動や律動的な運動をすること。 イ多様な動きをつくる運動遊びでは、体のバランスをとったり移動をしたりするとともに、用具の操作などをすること。 (2) 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。 (3) 体づくりのための簡単な運動の行い方を工夫できるようにする。</p>	<p>B 器械・器具を使つての運動遊び (1) 次の運動を楽しく行い、その動きができるようにする。 ア固定施設を使つた運動遊びでは、登り下りや懸垂移行、渡り歩きや跳び下りをする事。 イマットを使つた運動遊びでは、いろいろな方向への転がり、手で支えての体の保持や回転をすること。 ウ鉄棒を使つた運動遊びでは、支持しての上がり下り、ぶら下がりや易しい回転をすること。 エ跳び箱を使つた運動遊びでは、跳び乗りや跳び下り、手を着いてのまたぎ乗りや跳び乗りをすること。  (2) 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。  (3) 器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫できるようにする。</p>	<p>C 走・跳の運動遊び (1) 次の運動を楽しく行い、その動きができるようにする。 ア走の運動遊びでは、いろいろな方向に走ったり、低い障害物を走り越えたりすること。 イ跳の運動遊びでは、前方や上方に跳んだり、連続して跳んだりすること  (2) 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。  (3) 走ったり跳んだりする簡単な遊び方を工夫できるようにする。</p>	<p>D 水遊び (1) 次の運動を楽しく行い、その動きができるようにする。 ア水に慣れる遊びでは、水につかたり移動したりすること。 イ浮く・もぐる遊びでは、水に浮いたりもぐったり、水中で息を吐いたりすること  (2) 運動に進んで取り組み、仲よく運動をしたり、水遊びの心得を守って安全に気を付けたりすることができるようにする。  (3) 水中での簡単な遊び方を工夫できるようにする。</p>	<p>E ゲーム (1) 次の運動を楽しく行い、その動きができるようにする。 アボールゲームでは、簡単なボール操作やボールを持たないときの動きによって、的に当てるゲームや攻めと守りのあるゲームをすること。 イ鬼遊びでは、一定の区域で、逃げる、追いかける、陣地を取り合うなどをすること。  (2) 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。  (3) 簡単な規則を工夫したり、攻め方を決めたりすることができるようにする。</p>	<p>F 表現リズム遊び (1) 次の運動を楽しく行い、題材になりきったりリズムに乗ったりして踊ることができるようにする。 ア表現遊びでは、身近な題材の特徴をとらえ全身で踊ること。 イリズム遊びでは、軽快なリズムに乗って踊ること。  (2) 運動に進んで取り組み、だれとでも仲よく踊ったり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。  (3) 簡単な踊り方を工夫できるようにする。</p>	
<p>3・4年</p>	<p>1 目標 (1) 活動を工夫して各種の運動を楽しくできるようにするとともに、その基本的な動きや技能を身に付け、体力を養う。  (2) 協力、公正などの態度を育てるととも</p>	<p>A 体づくり運動 (1) 次の運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、体の基本的な動きができるようにする。 ア体ほぐしの運動では、心と体の変化に気付いたり、体の調子を</p>	<p>B 器械運動 (1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その技ができるようにする。 アマット運動では、基本的な回転技や倒立技をすること。 イ鉄棒運動では、基本的な上がり技や支持回転技、下り技をすること。</p>	<p>C 走・跳の運動 (1) 次の運動を楽しく行い、その動きができるようにする。 アかけっこ・リレーでは、調子よく走ること。 イ小型ハードル走では、小型ハードルを調子よく走り越えること。 ウ幅跳びでは、短い助走</p>	<p>D 浮く・泳ぐ運動 (1) 次の運動を楽しく行い、その動きができるようにする。 ア浮く運動では、いろいろな浮き方やけ伸びをすること。 イ泳ぐ運動では、補助具を使つてのキックやストローク、呼吸をしながらの初歩</p>	<p>E ゲーム (1) 次の運動を楽しく行い、その動きができるようにする。 アゴール型ゲームでは、基本的なボール操作やボールを持たないときの動きによって、易しいゲームをすること。 イネット型ゲームでは、ラリーを続けたり、ボールをつないだりして易しいゲームをすること</p>	<p>F 表現運動 (1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、表したい感じを表現したりリズムの特徴をとらえたりして踊ることができるようにする。 ア表現では、身近な生活などの題材からその主な特徴をとらえ、対比する</p>	<p>G 保健 (1) 健康の大切さを認識するとともに、健康によい生活について理解できるようにする。 ア心や体の調子がよいなどの健康の状態は、主体の要因や周囲の環境の要因がかかわっていること。 イ毎日を健康に過ごすには、食事、運動、休養及び睡眠の調和</p>

	<p>に、健康・安全に留意し、最後まで努力して運動をする態度を育てる。</p> <p>(3) 健康な生活及び体の発育・発達について理解できるようにし、身近な生活において健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。</p>	<p>整えたり、みんなでかわり合ったりするための手軽な運動や律動的な運動をすること。</p> <p>イ多様な動きをつくる運動では、体のバランスや移動、用具の操作などととも、それらを組み合わせること。</p> <p>(2) 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 体づくりのための運動の行い方を工夫できるようにする。</p>	<p>ウ跳び箱運動では、基本的な支持跳び越し技をすること。</p> <p>(2) 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 自己の能力に適した課題をもち、技ができるようにするための活動を工夫できるようにする。</p>	<p>から踏み切って跳ぶこと</p> <p>エ高跳びでは、短い助走から踏み切って跳ぶこと</p> <p>(2) 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする</p> <p>(3) 自己の能力に適した課題をもち、動きを身に付けるための活動や競争の仕方を工夫できるようにする。</p>	<p>的な泳ぎをすること。</p> <p>(2) 運動に進んで取り組み、仲よく運動をしたり、浮く・泳ぐ運動の心得を守って安全に気を付けたりすることができるようにする</p> <p>(3) 自己の能力に適した課題をもち、動きを身に付けるための活動を工夫できるようにする。</p>	<p>ウベースボール型ゲームでは、蹴る、打つ、捕る、投げるなどの動きによって、易しいゲームをすること。</p> <p>(2) 運動に進んで取り組み、規則を守り仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を立てたりすることができるようにする。</p>	<p>動きを組み合わせたリ繰り返したりして踊ること。</p> <p>イリズムダンスでは、軽快なリズムに乗って全身で踊ること。</p> <p>(2) 運動に進んで取り組み、だれとでも仲よく練習や発表をしたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 自己の能力に適した課題を見付け、練習や発表の仕方を工夫できるようにする。</p>	<p>のとれた生活を続けること、また、体の清潔を保つことなどが必要であること。</p> <p>ウ毎日を健康に過ごすには、明るさの調節、換気などの生活環境を整えることなどが必要であること。</p> <p>(2) 体の発育・発達について理解できるようにする。</p> <p>ア体は、年齢に伴って変化すること。また、体の発育・発達には、個人差があること。</p> <p>イ体は、思春期になると次第に大人の体に近づき、体つきが変わったり、初経、精通などが起こったりすること。また、異性への関心が芽生えること。</p> <p>ウ体をよりよく発育・発達させるには、調和のとれた食事、適切な運動、休養及び睡眠が必要であること。</p>
5・6年	<p>1 目標</p> <p>(1) 活動を工夫して各種の運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、その特性に応じた基本的な技能を身に付け、体力を高める。</p> <p>(2) 協力、公正などの態度を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を育てる。</p> <p>(3) 心の健康、けがの防止及び病気の予防について理解できるようにし、健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。</p>	<p>A 体づくり運動</p> <p>(1) 次の運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、体力を高めることができるようにする。</p> <p>ア体ほぐしの運動では、心と体の関係に気付いたり、体の調子を整えたり、仲間と交流したりするための手軽な運動や律動的な運動をすること。</p> <p>イ体力を高める運動では、ねらいに応じて、体の柔らかさ及び巧みな動きを高めるための運動、力強い動き及び動きを持続する能力を高めるための運動をすること。</p> <p>(2) 運動に進んで取り組み、助け合って運動をしたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。</p> <p>(3) 自己の体の状態や体力に応じて、運動の行い方を工夫できるようにする。</p>	<p>B 器械運動</p> <p>(1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その技ができるようにする。</p> <p>アマット運動では、基本的な回転技や倒立技を安定して行うとともに、その発展技を行ったり、それらを繰り返したり組み合わせたりすること。</p> <p>イ鉄棒運動では、基本的な上がり技や支持回転技、下り技を安定して行うとともに、その発展技を行ったり、それらを繰り返したり組み合わせたりすること。</p> <p>ウ跳び箱運動では、基本的な支持跳び越し技を安定して行うとともに、その発展技を行うこと。</p> <p>(2) 運動に進んで取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。</p> <p>(3) 自己の能力に適した課題の解決の仕方、競争や記録への挑戦の仕方を工夫できるようにする。</p>	<p>C 陸上運動</p> <p>(1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その技能を身に付けることができるようにする。</p> <p>ア短距離走・リレーでは、一定の距離を全力で走ること。</p> <p>イハードル走では、ハードルをリズムカルに走り越えること。</p> <p>ウ走り幅跳びでは、リズムカルな助走から踏み切って跳ぶこと。</p> <p>エ走り高跳びでは、リズムカルな助走から踏み切って跳ぶこと。</p> <p>(2) 運動に進んで取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。</p> <p>(3) 自己の能力に適した課題の解決の仕方、競争や記録への挑戦の仕方を工夫できるようにする。</p>	<p>D 水泳</p> <p>(1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その技能を身に付けることができるようにする。</p> <p>アクロールでは、続けて長く泳ぐこと。</p> <p>イ平泳ぎでは、続けて長く泳ぐこと。</p> <p>(2) 運動に進んで取り組み、助け合って水泳をしたり、水泳の心得を守って安全に気を配ったりすることができるようにする。</p> <p>(3) 自己の能力に適した課題の解決の仕方、記録への挑戦の仕方を工夫できるようにする。</p> <p>E ボール運動</p>	<p>E ボール運動</p> <p>(1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その技能を身に付けることができるようにする。</p> <p>アゴール型では、簡易化されたゲームで、ボール操作やボールを受けるための動きによって、攻防をすること。</p> <p>イネット型では、簡易化されたゲームで、チームの連係による攻撃や守備によって、攻防をすること。</p> <p>ウベースボール型では、簡易化されたゲームで、ボールを打ち返す攻撃や隊形をとった守備によって、攻防をすること。</p> <p>(2) 運動に進んで取り組み、ルールを守り助け合って運動をしたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。</p> <p>(3) ルールを工夫したり、自分のチームの特徴に応じた作戦を立てたりすることができるようにする。</p>	<p>F 表現運動</p> <p>(1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、表したい感じを表現したり踊りの特徴をとらえたりして踊ることができるようにする。</p> <p>ア表現では、いろいろな題材から表したいイメージをとらえ、即興的な表現や簡単なひとまとまりの表現で踊ること。</p> <p>イフォークダンスでは、踊り方の特徴をとらえ、音楽に合わせて簡単なステップや動きで踊ること。</p> <p>(2) 運動に進んで取り組み、互いのよさを認め合い助け合って練習や発表をしたり、場の安全に気を配ったりすることができるようにする。</p> <p>(3) 自分やグループの課題の解決に向けて、練習や発表の仕方を工夫できるようにする。</p>	<p>G 保健</p> <p>(1) 心の発達及び不安、悩みへの対処について理解できるようにする。</p> <p>ア心は、いろいろな生活経験を通して、年齢に伴って発達すること。</p> <p>イ心と体は、相互に影響し合うこと。</p> <p>ウ不安や悩みへの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動をするなどいろいろな方法があること。</p> <p>(2) けがの防止について理解するとともに、けがなどの簡単な手当ができるようにする。</p> <p>ア交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であること。</p> <p>イけがの簡単な手当は、速やかに行う必要があること。</p> <p>(3) 病気の予防について理解できるようにする。</p> <p>ア病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境がかかわり合っていること。</p> <p>イ病原体が主な要因となって起</p>

									こる病気の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高めることが必要であること。 ウ生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には、栄養の偏りのない食事をとること、口腔の衛生を保つことなど、 くう望ましい生活習慣を身に付ける必要があること。 エ喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となること。 オ地域では、保健にかかわる様々な活動が行われていること。
7・8年	<p>1 目標</p> <p>(1)運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 運動についての事故課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。</p>	<p>A 体づくり運動</p> <p>(1) 次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などを理解し、目的に適した運動を身に付け、組み合わせること。</p> <p>ア体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体の関係や心身の状態に気付き、仲間と積極的に関わらうこと。</p> <p>イ体の動きを高める運動では、ねらいに応じて、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動を行うとともに、それらを組み合わせること。</p> <p>(2) 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>(3) 体づくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとするこ</p>	<p>B 器械運動</p> <p>(1) 次の運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、技をよりよく行うこと。</p> <p>ア マット運動では回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせること。</p> <p>イ鉄棒運動では、支持系や懸垂系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせること。</p> <p>エ跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと。</p> <p>(2) 技などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己</p>	<p>C 陸上競技</p> <p>(1) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な動きや効率のよい動きを身に付けること。</p> <p>ア短距離走・リレーでは、滑らかな動きで速く走ること、長距離走では、ペースを守って走ること、ハードル走では、リズムカルな走りから滑らかにハードルを越すこと。</p> <p>イ走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から素早く踏み切って跳ぶこと、走り高跳びでは、リズムカルな助走から力強く踏み切って大きな動作で跳ぶこと。</p> <p>(2)動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>(3) 陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとする</p>	<p>D 水泳</p> <p>(1) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、泳法を身に付けること。</p> <p>アクロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐこと。</p> <p>イ平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐこと。</p> <p>ウ背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐこと。</p> <p>エバタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐこと。</p> <p>(2)泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>(3) 水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとする</p>	<p>E 球技</p> <p>(1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにすること。</p> <p>アゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすること。</p> <p>イネット型では、ボールや用具の操作と位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。</p> <p>ウベースボール型では、基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすること。</p> <p>(2)攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>(3) 球技に積極的に取</p>	<p>F 武道</p> <p>(1) 次の運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて簡易な攻防を展開すること。</p> <p>ア柔道では、相手の動きに応じた基本動作か、基本となる技を用いて、投げたり抑えたりするなどの攻防をすること。</p> <p>イ剣道では、相手の動きに応じた基本動作か、基本となる技を用いて、打ったり受けたりの攻防をすること。</p> <p>ウ相撲では、相手の動きに応じた基本動作か、基本となる技を用いて、押したり寄ったりするなどの攻防をすること。</p> <p>(2)攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考え</p>	<p>G ダンス</p> <p>(1) 次の運動について、感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、イメージをとらえた表現や踊りを通じた交流をすること。</p> <p>ア創作ダンスでは、多様なテーマから表したいイメージをとらえ、動きに変化を付けて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊ること。</p> <p>イフォークダンスでは、踊り方の特徴をとらえ、音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊ること。</p> <p>ウ現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴をとらえ、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊ること。</p> <p>(2) 表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工</p>	<p>H 体育理論</p> <p>(1) 運動やスポーツが多様であることについて理解できるようにする。</p> <p>ア運動やスポーツは、体を動かしたり、健康を維持したりするなどの必要性や、競技に応じた力を試すなどの楽しさから生みだされ発展してきたこと。</p> <p>イ運動やスポーツには、行うこと、見ること、支えること及び知ることなどの多様な関わり方があること。</p> <p>ウ世代や機会に応じて、生涯にわたって運動やスポーツを楽しむためには、自己に適した多様な楽しみ方を見付けたり、工夫したりすることが大切である。</p> <p>イ 運動やスポーツが多様であることについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。</p> <p>ウ 運動やスポーツが多様であることについての学習に積極的に取り組むこと。</p>

		と、一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとする、話し合いに参加しようとするなどや、健康・安全に気を配ること。	の考えたことを他者に伝えること。 (3) 器械運動に積極的に取り組むとともに、よい演技を認めようとする、仲間の学習を援助しようとするなどや、健康・安全に気を配ること。	こと、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどや、健康・安全に気を配ること。	など健康・安全に気を配ること。	り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助しようとするなどや、健康・安全に気を配ること。	たことを他者に伝えること。 (3) 武道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどや、健康・安全に気を配ること。	夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 (3) ダンスに積極的に取り組むとともに、仲間を援助しようとする、交流などの話し合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとするなどや、健康・安全に気を配ること。	
9年	<p>1 目標</p> <p>(1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようになるため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 運動についての自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。</p>	<p>A 体づくり運動</p> <p>(1) 次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むこと。</p> <p>ア体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うこと。</p> <p>イ 実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むこと。</p> <p>(2) 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>(3) 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>B 器械運動</p> <p>(1) 次の運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、自己に適した技で演技すること。</p> <p>アマット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技すること。</p> <p>イ鉄棒運動では、支持系や懸垂系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技すること。</p> <p>ウ平均台運動では、体操系やバランス系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展技を行うこと及びそれらを構成し演技すること。</p> <p>エ跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展技を行うこと。</p> <p>(2) 技などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>(3) 器械運動に自主的に取り組むとともに、よい演技を讃えようとする、互いに助け合い教え合</p>	<p>C 陸上競技</p> <p>(1) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。</p> <p>ア短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡しで次走者のスピードを十分高めること、長距離走では、自己に適したペースを維持して走ること、ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く越すこと。</p> <p>イ走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶこと、走り高跳びでは、リズムカルな助走から力強く踏み切り滑らかな空間動作で跳ぶこと。</p> <p>(2) 動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>(3) 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑</p>	<p>D 水泳</p> <p>(1) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。</p> <p>アクロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。</p> <p>イ平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。</p> <p>ウ背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐこと。</p> <p>エバタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐこと。</p> <p>(2) 泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>(3) 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑</p>	<p>E 球技</p> <p>(1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームが展開する。</p> <p>アゴール型では、安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。</p> <p>イネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。</p> <p>ウベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作、連携した守備などによって攻防をすること。</p> <p>(2) 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>(3) 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違い</p>	<p>F 武道</p> <p>(1) 次の運動について、技を高め勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方や、技の名称や見取り方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防をすること。</p> <p>ア柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作から、基本となる技、得意技や連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりすること。</p> <p>イ剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作から、基本となる技や得意技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりすること。</p> <p>ウ相撲では、相手の動きの変化に応じた基本動作から、基本となる技や得意技を用いて、相手を崩し、投げたりひねったりすること。</p> <p>(2) 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>(3) 武道に自主的に取</p>	<p>G ダンス</p> <p>(1) 次の運動について感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表すること。</p> <p>ア創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や群で緩急強弱のある動きや空間の使い方に変化をつけて即興的に表現したり簡単な作品にまとめたりし踊ること。</p> <p>イフォークダンスでは、踊り方の特徴をとらえ、音楽に合わせて特徴的なステップや動きと組み方で踊ること。</p> <p>ウ現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴をとらえ、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ること。</p> <p>(2) 表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者</p>	<p>H 体育理論</p> <p>ア 文化としてのスポーツの意義について理解すること。</p> <p>(ア) スポーツは文化的な生活を営み、よりよく生きていくために重要であること。</p> <p>(イ) オリンピックや国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていること。</p> <p>(ウ) スポーツは、民族や国、人種や性、障害の違いなどを超えて人々を結び付けていること。</p> <p>イ 文化としてのスポーツの意義について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。</p> <p>ウ 文化としてのスポーツの意義についての学習に自主的に取り組むこと。</p>

			うとすること、一人一人の 違いに応じた課題や挑戦 を大切にしようとするこ となどや、健康・安全を確 保すること。	戦を大切にしようとし ることなどや、健康・安 全を確保すること。	や、水泳の事故防止に関す る心得を遵守するなど健 康・安全を確保すること。	に応じたプレイなどを 大切にしようとするこ と、互いに助け合い教 え合おうとすることな どや、健康・安全を確 保すること。	り組むとともに、相手 を尊重し、伝統的な行 動の仕方を大切にしよ うとすること、自己の 責任を果たそうとす ること、一人一人の違 いに応じた課題や挑戦 を大切にしようとする ことなどや、健康・安 全を確保すること。	に伝えること。 (3) ダンスに自主的 に取り組むとともに、 互いに助け合い教え 合おうとすること、作 品や発表などの話し 合いに貢献しようと すること、一人一人の 違いに応じた表現や 役割を大切にしよう とすることなどや、健 康・安全を確保するこ と。	
--	--	--	--	--	---	--	--	---	--